

伊勢湾台風写真台帳



写真名称 :	長島町福豊付近の木曽川右岸堤を上流側から望む
エ リ ア :	三重県
撮影箇所 :	長島町
撮 影 日 :	1959 年
撮 影 者 :	旧建設省
資料提供者 :	木曽川下流河川事務所
状 况 :	一

現地状況、コメント等

〔被災体験を持つ元建設省職員の方の所見(座談会)〕
 伊勢湾台風被災後に、被災状況を把握するために踏査したときのものである。
 木曽川右岸 4.0k 附近である。当時の長島町の木曽川右岸は、土砂採取して堤防の嵩上げ・拡幅を行っていた。川面には「よし根土」を吹いたが、天端は土盛りのままであった。写真では、嵩上げ・拡幅した分の盛土が崩れている。川岸に多く見られる細い棒状のものは、海苔の養殖に用いる道具(海苔ヒビ)である。
 踏査時の調査表には以下のように整理されている。
 <10月13日 災害状況調査表>
 ●堤防の様子／嵩上げ堤か：嵩上げ堤、旧堤部はどうか：健在、法線方向：北北西
 ●溢流しているか／部々的に溢流する、その時刻：≈20 時頃、溢流の様子：不詳、溢流深(波立)：不詳
 ●波の来た方向：不詳
 ●木の傾いている方向：北北西、何度位(地面に対し)：60°、樹種：マツ
 ●灌木は残っているか：残っている、大きさ：1～3m
 ●堤内地の家の壊れ方／壁：全部落ちるも上部は部々的に残っている、屋根：健在、柱：直立

撮影位置



※国土地理院発行地形図を使用